

*米国本社リリース参考訳

*公式リリースは[P & G米国本社サイト](#)をご覧ください。

P & G 2018/19 事業年度 第4四半期(4-6月期)業績

第4四半期米国会計基準：純売上高4%増、希薄化後1株当たり純損失は394%減少の2.12ドル

第4四半期中核業績：本源的売上高7%増、1株当たり中核利益は17%増加の1.10ドル、為替レートの影響を除いた1株当たり中核利益は26%増

通期米国会計基準：純売上高1%増、希薄化後1株当たり純利益は61%減少の1.43ドル

通期中核業績：本源的売上高5%増、1株当たり中核利益は7%増加の4.52ドル、為替レートの影響を除いた1株当たり中核利益は15%増

2019年7月30日 米国シンシナティ発

ザ・プロクター・アンド・ギャンブル・カンパニー(NYSE:PG)は、2019事業年度第4四半期の純売上高が、前年同期と比べ4%増の171億ドルであったと発表しました。本源的販売数量の3%増を受け、為替レートと事業の買収・売却の影響を除いた本源的売上高は、7%増加しました。希薄化後1株当たり純損失は、主として、「ジレット」カミソリ・替刃事業の帳簿価額に現金支出を伴わない一時的な減損処理を加えたために、前年同期と比べ2.84ドル減少して2.12ドルになりました。1株当たり中核利益は、本源的売上高の堅調な成長と営業利益率の改善により17%増加し、1.10ドルになりました。為替レートの影響を除く1株当たり中核利益は、前年比26%増加しました。当四半期の営業キャッシュフローは42億ドルで、調整済フリーキャッシュフローの生産性は122%でした。

2019事業年度通期の純売上高は、前年と比べ1%増の677億ドルでした。本源的販売量の2%増を受け、為替レートと事業の買収・売却の影響を除いた本源的売上高は、5%増加しました。希薄化後1株当たり純利益は、主として、「ジレット」カミソリ・替刃事業の帳簿価額に減損処理を加えたために、前年に比べ61%減少して1.43ドルになりました。1株当たり中核利益は、7%増加し4.52ドルになりました。為替レートの影響を除く1株当たり中核利益は、前年に比べ15%増加しました。2019事業年度通期の営業キャッシュフローは152億ドルで、調整済フリーキャッシュフロー生産性は105%でした。当社は、2019事業年度を通じて、75億ドルの配当金、50億ドルの自社株式の買い戻しにより、合計125億ドルを株主の皆様に還元しました。

取締役会会長、社長兼最高経営責任者(CEO)デビッド・テイラーは、「P&Gは、2019事業年度の中核売上、中核利益、ならびに、中核キャッシュフローの目標すべてを達成、あるいは上回ることができました。年間を通じて、売上高を伸ばし市場シェアを拡大させ、利益率を高めたことで、当社の第4四半期は、ここ10年近くにおいて最も高い本源的売上高の成長を達成しました。今後も引き続き、製品の優位性、生産性の向上、集中と選択に注力し、P & Gの組織と企業文化を革新することで、競合他社との厳しい競争やマクロ経済の状況の中でも、売上高と利益において持続可能でバランスの取れた成長を達成し、強力にキャッシュフローを生み出せるようにします」と述べています。

2019年4-6月期について

2019事業年度第4四半期の純売上高は、前年同期と比べて4%増の171億ドルでした。当四半期売上の為替差損は4%でした。為替レートと事業の買収・売却の影響を除いた本源的売上高は、本源的販売数量の3%増の恩恵を受け、7%増加しました。価格改定は売上高の増加に3%寄与しました。先進国市場、ならびに「SK-II」ブランドやパーソナルヘルスケア事業などのプレミアム製品の強力な成長を背景に、ミックスは本源的売上高の伸びに2%寄与しました。

2019年4-6月期	販売	為替	価格				本源的	本源的
純売上高増減要因(1)	数量	レート	改定	ミックス	その他(2)	純売上高	販売量	売上高
ビューティー事業	2%	-5%	2%	5%	-1%	3%	1%	8%
グルーミング事業	-1%	-6%	3%	1%	—%	-3%	-1%	4%
ヘルスケア事業	8%	-4%	3%	4%	2%	13%	3%	10%
ファブリック& ホームケア事業	5%	-4%	4%	1%	-1%	5%	5%	10%
ベビー、フェミニン& ファミリーケア事業	1%	-4%	3%	1%	—%	1%	1%	5%
P & G 全体	3%	-4%	3%	2%	—%	4%	3%	7%

(1) これらの純売上高に係る増減割合は、継続的に適用している計算方法に基づく概算値です。

(2) その他には事業の買収・売却による売上ミックスの影響、2018年7月1日から適用された新しい会計基準「顧客との契約から生じる収益」の影響、ならびに、純売上高との差異分析に欠かせない端数処理が含まれています。

- ビューティー事業セグメントの本源的売上高は、前年と比べ8%増加しました。スキン&パーソナルケア部門の本源的売上高は、10%台半ば成長しました。市場の拡大、製品革新、スーパープレミアムブランドである「SK-II」とスキンケアブランド「オレイ」の成長により製品ミックスが有利になっていること、ならびに価格改定を要因としています。ヘアケア部門の本源的売上高は、製品革新と通貨価値の下落を理由とした値上げにより、一桁台前半の増加となりました。
- グルーミング事業セグメントの本源的売上高は、4%増加しました。カミソリ・替刃部門の本源的売上高は、先進国市場での成長からもたらされた有利な地域ミックスと通貨価値の下落を理由とした値上げが、販売数量の減少と複数の地域での市場の縮小により一部相殺され、一桁台前半の増加となりました。電化製品部門の本源的売上高は、プレミアム製品の製品革新、先進国市場での大きな成長による有利な製品ミックス、ならびに価格改定により、二桁台の増加となりました。
- ヘルスケア事業セグメントの本源的売上高は、10%増加しました。オーラルケア部門の本源的売上高は、プレミアム製品の製品革新、先進国市場における成長、プレミアムな電動歯ブラシ及び歯磨き粉の成長による製品ミックスの改善、ならびに価格改定により、一桁台後半の増加となりました。パーソナルヘルスケア部門の本源的売上高は、製品革新、季節外れの風邪の流行、ならびに、先進国市場とカテゴリー平均よりも販売価格の高い呼吸器薬で大きく成長したことによる製品ミックスの改善により、10%台半ばの増加となりました。

- ファブリックケア&ホームケア事業セグメントの本源的売上高は、10%増加しました。ファブリックケア部門の本源的売上高は、製品革新、市場の拡大、通貨価値の下落を理由とした価格改定、ならびにプレミアム製品で大きく成長したことによる製品ミックスの改善により、二桁台の増加となりました。ホームケア部門の本源的売上高は、製品革新と通貨価値の下落を理由とした価格改定により、二桁台の増加となりました。
- ベビー、フェミニン&ファミリーケア事業セグメントの本源的売上高は、5%成長しました。ベビーケア部門の本源的売上高は、一桁台前半の増加となりました。これは、通貨価値の下落を理由とした値上げとプレミアム製品の大きな成長による製品ミックスの改善効果によるもので、値上げによる販売数量の減少と複数の市場でのカテゴリ縮小により、一部相殺されました。フェミニンケア部門の本源的売上高は、製品革新、プレミアム製品の成長による有利な製品ミックス、ならびに、通貨価値の下落を理由とした価格改定により、一桁台後半の増加となりました。ファミリーケア部門の本源的売上高は、製品革新と価格改定が、大口顧客向けでの大幅な成長を要因とした製品ミックスの悪化により一部相殺され、一桁台半ばの増加となりました。

2019 事業年度通年の業績

2019 事業年度通年の純売上高は、前年と比べ1%増の677億ドルでした。本源的販売量の2%増の恩恵を受け、為替レートと事業の買収・売却の影響を除いた本源的売上高は、5%増加しました。希薄化後1株当たり純利益は、主として「ジレット」カミソリ・替刃事業の帳簿価額に減損処理を加えたために、前年に対し61%減少して1.43ドルになりました。この影響は、前年に実施した負債の早期削減費用と米国税制改正による費用が当年になくなったことで、一部相殺されました。1株当たり中核利益は、前年と比べ7%増加し、4.52ドルでした。これは、純売上高の増加、および、実効税率の低下によるものです。為替レートの影響を除くと、1株当たり中核利益は15%増でした。

2020 事業年度の見通し

当社は、2020 事業年度通期のすべてを含めた純売上高が前年度比3~4%の範囲で増加すると見込んでいると述べました。この見通しの中には、為替レートの悪影響とこれを大きく相殺する形で事業の買収・売却による好影響が含まれています。P & Gは、本源的売上高成長率が3~4%の範囲に収まるものと予想しています。

P & Gについて

P & Gは、高い信頼と優れた品質で、市場をリードする製品ブランドを世界中の人々にお届けしています。それらのブランドには、オールウェイズ®、アンビピュア®、アリエール®、バウンティ®、シャーマン®、クレスト®、ドーン®、ダウニー®、フェアリー®、ファブリーズ®、ゲイン®、ジレット®、ヘッド&ショルダーズ®、レノア®、オレイ®、オーラルB®、パンパース®、パンテーン®、SK-II®、タイド®、ヴィックス®、ウイスパ®などが含まれます。P & Gは約 70 カ国に現地事業拠点を置き、世界的に事業を展開しています。P & Gとその製品について、最新の詳しい情報は、米国本社ホームページ <https://us.pg.com>(英語)をご参照ください。